

3月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向: 若者たち
- ②宣教の意向: 宣教者の間の協力
- ③日本教会の意向: 女性と子どもの人権のための献身

羽ばたく新司祭

2006年司祭・助祭叙階式

2月12日 教区長ヨセフ高見三明大司教の主司式のもと、3人の司祭叙階と1人の助祭叙階式が浦上司教座聖堂にて行われた。長崎教区のみならず神の民全員にとっても喜びの日を迎えた。

受ける者」を前に深堀教会主任司祭下口勲神父が初めに説教した。司祭に期待されていること、先輩司祭が自ら模範となつて示す司祭の生き方が丁寧に話された。

式中、聖別の祈りが唱えられ、司祭・助祭は神に取り分けられた者、神の道具となる聖別の祈りを終えて晴れやかな顔に変

司祭・助祭叙階おめでとうございます



熊谷 裕司 師



大水 恵一 師



汐留 義和 師



谷脇誠一郎 師

新たな歩みを—信徒使徒職—

この3月をもって教区および地区「信徒使徒職評議会」は、ともに発展的に解消することになりました。2002年に故島本大司教さまの諮問を受けて始まった「小教区組織見直し」は、教区・地区レベルにおいて4月から「教区評議会、各地区評議会」として発足し、新しい歩みを進めていくことになりました。

地区においても各地区信徒使徒職評議会が大きな役割を担い、特に祈願祭、殉教祭などの諸行事において中心となる働きをし、あらゆる面で地区の諸活動を支えてきたと言っても過言ではないと思います。

2000年に入つて、故島本大司教さまは「宣教する長崎教区」を教区ビジョンとして掲げ、教区内の宣教体制づくりに

殉教は最高の愛の証です

26聖人殉教記念ミサ大司教説教



今年の4月7日は聖フランシスコ・ザビエル生誕500年の記念日に当たります。ザビエルの宣教の1つの実りとして、この26聖人が生まれたと言つていいと思います。ザビエルが日本に來られて48年くらい後に、最初の(少なくとも列聖された最初の)殉教者が生まれました。そしてそれだけに終わらず、その後何百何千という殉教者の最初の一步でありました。今日はこの「殉教」ということと「宣教」とのつながりについて、少し考えてみたいと思います。

ザビエルが伝えた福音というのは何でしょうか。もちろん、キリストの教えでありました。そしてその中心は「愛」です。イエスさまは「友のために自分の命を与える以上に大きな愛はない」と仰いました。そして「わたしが愛したように互いに愛し合ひ

なさい」と。つまり宣教することとはこの「愛」、それも「キリストの愛」を伝えることです。そしてそれは、言葉だけでなく、よく言われるように「生活の証し」すなわち「愛する生活」「愛し合う生き方」を通して宣教することなのです。

宣教は「証し」です。ところで「殉教」という言葉はもと「証しする」という意味であり、殉教こそ証しの最大のかたち、最高のかたちと言われます。となると、「宣教する」ということの行き着くところ、あるいは宣教の最高のかたちが殉教することであるというふうにも言えると思います。なぜなら殉教は神さまが最高のお方、最高の愛であられるということを示し、愛である神さまに自分をささげるといふ最高の愛を示すことだからです(中略)。

皆さんわたしたちは今、殉教するほどの状況にはありません。しかし本質的には、宣教するということと殉教するということとはつながっている、同じことだと理解したいと思ひます。殉教という文字通りのことではないにしても、単に言葉だけではなくて殉教に近い苦しみとか、自分を与えること、自分を譲ること、真理を守り伝えるために何か大きな犠牲を払うことは、わたしたちに求められていることとすし、わたしたちにできることだと思ひます。自分の命を文字通り与えることではないにしても、それに近いぐらいの大きな犠牲をささげることが、今の時

代を生きるためには必要かも知れません。わたしたちは今これらの犠牲を避けています。楽な方を選んでいくのではないのでしょうか。

ところでもう一つ、忘れてはならないことがあります。ちょうど25年前にヨハネ・パウロ2世教皇さまは、この西坂の地を訪れました(中略)。教皇さまはたくさんの方を連れて残していただきましたが、そのうちの1つはこの西坂の地を(松山でのミサの時の説教の中で「長崎の至福の丘」と言われたことです。「至福」すなわち「幸いの丘」「幸いな者の丘」です。今日の福音で読まれたあの「幸いな人」、殉教者たちは皆イエスさまの言葉を身をもって示しました。彼らは、心の貧しい人すなわち、全幅の信頼を神さまに置く人、苦しむ人、泣く人でした。そして正義を愛し、正義のために自分の命をささげました。平和を愛しました。平和をつくりました。文字通り迫害されました。しかしこの人たちは幸いな人でした。そして永遠に幸いな者とされました(中略)。

長崎教区は今年11年を宣教年間といたしました。どうか皆さん、「殉教者の精神は宣教の精神だ。そしてそれは今のわたしたちの毎日の生活の中で生きることが出来るのだ」ということを忘れずに、このミサの中で殉教者たちがもつていたあの熱意と力、知恵と愛の恵みをくださるよう、彼らの執り成しを願つて祈りましょう。

取り組み始められました。その一環として、教区11委員会を含む「教区本部事務局」を設置し、その後「小教区組織見直し」に取り掛かれました。後任の高見大司教さまもその遺志を受け継がれ、昨年は各小教区評議会の設置を行いました。そして、今年、ようやく教区・地区評議会の設置となり、3年余を経て見直しの意向が実ることになりました。これからは新しい組織の活用によって教区内の信徒、修道者、司祭が

一体となり、今まで以上に福音宣教に向かうことが求められているといえるでしょう。

「信徒使徒職評議会」の歴史を閉じるにあたり、歴代の指導司祭をはじめ、歴代の役員、評議員の皆さまの献身的な働きとあらゆる奉仕が父である神に祝されますことを祈念し、新しい組織を通して「福音」がますます社会全体に及ぶよう願っています。

二輪の免許を取った。39歳になって教官にみっちりしごかれた。一緒に教習を受けているのは高校生や大学生。20歳離れて。頭から指先足先に指令が伝わっていかない。そうこうしているうちに同じ日に入校した高

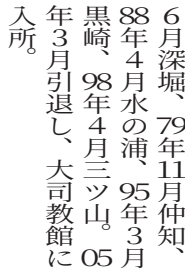
司祭 金祝・銀祝のよきおとずれ



ベトロ 佐藤哲夫神父



トマ 島山邦夫神父



ベトロ 岩村知彦神父



フランシスコ・ザベリオ 真 馨神父

1952年8月22日、長崎市生まれ。稲佐教会出身。81年2月25日、島山・古巣両師とともに教皇ヨハネ・パウロ2世司式により浦上司教座で叙階。同年5月黒島

1954年12月9日、五島市生まれ。奈留教会出身。81年5月浦上、85年3月ローマ・ウルバノ大学留学。88年3月滑石、89年4月長崎カトリック神学院、95年3月島原。

加料金のかかる補修もたくさん受けて、ようやく免許を手にした。こういうのを「研修」というのではないだろうか。この歳になって知らないとかできないとか言いたくない、けれども現実には教えてもらいたい。そういう痛し痒しの部分を司祭同士で正直に学びあう場を、現場では渴望しているのではないだろうか。今年も予算決算ではあぶら汗をかくことになる。会計の初歩的な知識さえないから。そんな司祭がいまさらどの顔で「予算の書き方教えてください」と言えるだろうか。司祭はある面では井の中の蛙、司祭にしかできないこともあるけれども、「神父さまは何でもできるはず」と思われて果たしていることも少なくない。だからこそ、「実のある研修」「意味のある研修」「いまさらながらの研修」をこれからもどんどん企画して欲しい。財布にパソコンをかうお金はあっても、キーボードに指一本触れようとしな



長崎市本原町の永井学生センターが発足して40周年。初代館長から今日も務める神父(イエズス会員)は「カトリック者



2月19日午後4時から大浦教会で長崎コレジオの第5回の卒業式(写真)が行われた。ことし卒業したのは山頭牧夫神学生(紐差教会)1人。式は高見大司教臨席のもと、長崎コレジオ養成スタッフと在学生、それに家族や関係者ら合わせて約50人が出席して行わ



日本26聖人殉教記念ミサ―西坂公園

2月5日午後2時から長崎市の西坂公園で「日本26聖人殉教記念ミサ」がささげられた。晴天の日曜日午後と時間帯にも恵まれ近年にない3千人余(写真)の信徒が公園を埋め尽くした。この日説教台に立った高見大司教は、4月7日に迎えるザビエル生誕500周年、ヨハネ・パウロ2世教皇の来崎25周年(1981年2月25〜26

目を前に、「聖フランシスコ・ザビエルの宣教の実り」「ヨハネ・パウロ2世教皇のメッセージ」について(一面参照)説き、殉教者に倣い宣教の精神を忘れないでほしいと述べた。この日、殉教者が歩いた彼杵乗船記念碑前から西坂まで(79・2キ)広



より大きな信頼のうちに新しい一步を踏み出してください。なによりも祈る人であってください」と励ましの言葉があった。4月の新学期から長崎コレジオへ進学予定。

は2月17日午後5時から橋本司教総代理の司式で卒業式を行った。卒業生は下原和希(土井ノ浦)出口隆一(浅子)の2人

5年ぶりに休暇で帰国、参列していたが、次のような感想を語った。大司教さまは説教で、「殉教と宣教は同じだ」と話されました。私たちは困難にあっても柔和な心で忍耐し、隣人を大切に愛し助け合って世界平和のためにキリストの道、殉教者の道をしっかりと歩き続けたいと思います。

お告げのマリア修道会初誓願式

お告げのマリア修道会は1月9日、高見大司教司式によって本部修道院聖堂で初誓願式を行った。

初誓願宣立者

谷脇 千尋(高松・松山真倉まゆみ(仲知)岩崎亜由美(西木場)平本 茜(紐差)大水 友美(西木場)松永 優子(紐差)

競う脚健 司祭団

長崎教区司祭団の健康増進と親睦をはかるため、今年も1月31日、



一斉にスタート(堂崎教会前)



勢揃いした司祭団

五島市で司祭団マラソン大会が行われた。毎年雨やみぞれに悩まされることが多かったが、今年は晴天に恵まれ長崎教区の各教会から選手、応援合わせて30数人の司祭団が集まった。

深堀勝一氏死去 長崎県護国軍友の会会長

2月2日糖尿病疾患のため長崎市内の病院で死去。78歳。長崎市坂本町。葬儀は同日午後3時、浦上教会で執り行われた。67年手帳友の会を創設、会長時代、旧浦上教会の「聖鐘複製を考え、複製作所に相談製作したのが平和公園内の「長崎の鐘」。その後「長崎の鐘を贈る会(代表)」を結成、旧ソ連・ロシア、中国・瀋陽市、日米開戦49年目の90年には米国ハワイへ「平和の鐘」を贈る。「ノーベル平和賞」受賞者キング牧師の顕彰碑も友の会平和祈念会館へ建立。



長崎の鐘

若者の集いを演出して40年

永井学生センター館長ホセ・アギライル神父(78)

ス会経営。国公立の大学、高校生・中学生と宗教を問わず利用。学習面ではLL教室、図書室など。語学教室は英会話、スペイン語、また、フランス、ドイツ語、外国人

ン団体では、「クルシリヨ」「マリッジ・エンカウンター」「高校生の集い」なども度々センターを借りて開催され喜ばれた。センターに所属の大学生会「パンガーズ(先駆

者団体では、「クルシリヨ」「マリッジ・エンカウンター」「高校生の集い」なども度々センターを借りて開催され喜ばれた。センターに所属の大学生会「パンガーズ(先駆

献で県民表彰を受けた。趣味の1つだが、かつて長崎市民文化会館で、ギター奏者で有名な山口修さんとの共演も。長崎大学では39年間教壇(英語講師)に立ち、教えるも

多い。「学生時代、長崎で過ごし、センターで出会って結婚。振り返ってみると、主人はセンターでキリスト教を認め、洗礼の恵みを受けました。結婚もセンターでお世話いただきました。センターに困難がふりかかってもどうか私どものことを思い出され自信を持って活動が続けてください。」大阪在住の婦人から寄せられた激励文には感動したという。

メキシコ出身。3年後は司祭叙階50年を迎える。結果は、上五島の桐教

2006年度 生涯養成委員会主催 各種講座の案内

◆聖書講座 木曜日 19:00~20:30
◆申込期間 3月1日~3月25日

◆信仰養成講座 土曜日 19:00~20:30
◆申込先・問い合わせ 〒852-8113 長崎市上野町10-34 Tel 095-841-7731 Fax 095-841-7732

◆会場 カトリックセンター2階 講堂

聖書講座 テーマ:「詩編」に親しむ

月日	内 容	講 師
4/20	神の民の祈りである「詩編」	高見三明大司教
4/27	「詩編」とは	
5/11	「賛美」の詩編	中田輝次師
5/18		
5/25	「感謝」の詩編	岩本繁幸師
6/1		
6/8	「嘆願(個人)」の詩編	山村憲一師
6/15	公開講座「詩編―祈りの中の祈り―」	和田幹男師
6/29	「嘆願(個人)」の詩編	山村憲一師
7/6	「嘆願(団体)」の詩編	本田靖彦師
7/13		

信仰養成講座

月 日	内 容	講 師
4/8 4/22	いやしをもたらす秘跡	盛 克志師
5/6 5/13	奉仕のための秘跡	中村 満師
5/20 5/27	秘跡以外の典礼	嘉松宏樹師
6/3 6/17	信徒の典礼奉仕職	山口竜太郎師
6/24 7/1	救いへの招き	山田良秋師
7/8 7/15	救いへの道	小瀬良明師
9/9 9/16	救いの恵み: 信教の自由と宣教	尾高修一師
9/30 10/7	生命の尊重: 性と結婚	山内 実師
10/14	聖書に学ぶ祈り I	高見三明大司教
10/21	社会・経済生活	阿野武仁師

月 日	内 容	講 師
10/28	聖書に学ぶ祈り II	高見三明大司教
11/11	政治参加と環境保護	阿野武仁師
11/18 11/25	基本的な祈り	中島健二師
12/2 12/9	祈りの実践: 祈りの深まり	M.ディアス師
1/13 1/20	要理教育 II	岩本繁幸師
1/27 2/10	要理教育実習 II	西村良男氏
2/17	求道者と共に学ぶ要理	橋本 勲師

◆聴講料 聖書講座 13,000円
信仰養成講座 16,000円

社会福祉施設めぐり②

みさかえの園
「めぐみの家・第2めぐみの家」

佐賀県境に近い諫早市の小長井町に知的障害児施設と知的障害者更生施設が「併設」といった形で社会福祉法人「聖家族会」が運営している。

めぐみの家 学齢児の

中・軽度の児童は、地元小長井小・中学校の特殊学級へ。重度・最重度の

生活”障害者には動物をいじめる人もいて仕方なく職員室にとの話しに施設児対応の難しさがある。

第2めぐみの家

知的障害者更生施設は、県内の大人の施設が満杯で待機者は多い。請川施設長の話では、療育手帳所持者(知的障害者)は県内で約1万人を超え、それ

みさかえの園概要

1949年12月聖母の騎士修道女会創立、61年知的障害児施設「めぐみの家」開園、同年「社会福祉法人聖家族会」設立、64年知的障害者更生施設「のぞみの家」開園、66年重症心身障害児施設「むつみの家」開園、73年重症心身障害児施設「あゆみの家」開園、80年重症心身障害児施設「むつみの家」成人棟完成、87年知的障害者更生施設「第2めぐみの家」開園、95年知的障害者更生施設「のぞみの家」全面改築



職員室をめぐらに可愛い九官鳥と猫がいた。施設の子供たちとは、別居に。もちろん職員が張り付く。早出、遅出、宿直、宿直の日にトブルがある。睡眠はとれない。施設利用者の中には、重度、最重度者が多く、中でも強度行動障害がある人たちの対応は大変という。

体育大会
めぐみの家



第3回
「聖書愛読マラソン」終了

昨年3月27日(復活の主日)から同12月25日(主の降誕祭)までの期間を第3回「聖書愛読マラソン大会(主催信徒徒職評議会)として実施したが、参加総数467人のうち、149人が完走した。第1回から3回を通すと2027人の信徒が聖書を読み、関心の深さを

★みことばを生きる
待降節主日、降誕節主日、四旬節、復活節、年間のおもな祝祭日、その日に読まれる新旧約聖書の箇所に基づいて、聖書的な解釈とともに日常の話題にも触れながら実生活に適用した示唆に富む黙想書。教区司祭、2800円。中町セントポール、サンパウロ長崎宣教センター。

★現代の偉大な霊性の大家
ヘンリー・ナウエンによるマリアの説教とルルド巡礼記
ナウエンは「内的にひどい緊張状態に陥り、ルルドにでかけ、緊張も、気がかりも、心配もない」心に変えられた。率直に、恵に満ちた霊的体験を分かち合いながら、読者を聖性の中心に導いてくれる。女子パウロ会、700円。



神から十戒を授けられたモーゼーシナイ山で

「教皇来日記念展」
3月18・19日精道学園

教皇ヨハネ・パウロ2世が伝えた信仰の熱意を今にのみがえらせ、当時生まれていなかった若者に体験をと「教皇来日記念展」が3月18・19の両日、精道学園三川台小中学校(長崎市三川町)で開かれる。

U.S.ドル(現時点では日本円2万5千500円)締め切りは3月31日まで。東京都江東区潮見2-10-10カトリック中央協議会 青少年司牧部門(担当千葉 TEL 03-5632-4480 FAX 03-5632-4465)。

みことばにふれて

本田靖彦神父



カット 本村静香(馬込教会)

3月は卒業の季節です。今年卒業を迎えられた皆さん、おめでとうございませう。今、皆さんは新しい世界への大きな希望と、もしかしたら少しだけの不安を感じているかもしれません。

と、新しい出会いがあります。初めて出会ったときは、この人は一体どんな人なんだろう? と思

はイエスさまに「はい」と答えて、ついでにきましたが、イエスさまはどんな人なのか、それはすぐには分かりませんでしたが、でもとにかくイエス

この7月28日から8日間、香港で開催される典礼・体験学習・ホームステイ・文化交流など、アジアの青年の連帯と信仰を深めるアジアの青年大会に日本から青年40人が招かれています。

同行責任者はドミニコ会の田中信明神父。対象は18~35歳(多少、英語力が必要) 参加費は2200円。

第4回「アジア・ユース・デー」(AYD)「誘う」

(Registration Form B)を返信(Health Declaration Form)、パスポートサイズの写真2枚。

プログラムの内容



香港の夜景

7月28日到着(ホームステイ29日地元の小教区での交流、30日AYD開会式)8月4日までYMC

31日開会ミサ、「アジアの家族」についての理論学習、8月1日グループの分かち合い、文化交流会

マイホームの美容と健康に!

(有) 山 川 塗 装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会理事
長崎県見物営繕工業協同組合理事

代表取締役 ペトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5

TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ミカエル 溝口 美義

〒858-0926 佐世保市大湊町586

TEL(0956)47-4380

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己

本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地

TEL (0956) 31-8268

タンスの中身は入れたまま責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)

貨物保険有り

- ・一般引越
- ・小荷物
- ・遠距離
- ・学生引越
- ・ピアノ運搬

24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00

水浦運送

シモン 水浦 幹雄

長崎市上野町12-3

TEL(095)4847-7151

844-1420

四旬節中の日曜日は営業します!

営業時間
午前10時~午後6時
※日曜 午後2時まで
(待降節・四旬節中のみ)

[3月の定休日] 20日(月)、21日(火)

キリスト教書籍・用品専門店

サンパウロ 長崎宣教センター

長崎市上野町2-6(カトリックセンターから徒歩1分)

TEL 095-841-8033 FAX 095-841-8034

